

2016年度 ANAグループ航空輸送事業計画を策定

- ～ 4月より成田＝武漢線、9月より成田＝プノンペン線を新規開設します！ ～
 ～ 欧米路線に続き、アジアでもビジネスクラスのフルフラットシート化を推進します！ ～
 ～ 国内線では、3月より羽田＝宮古線の運航を開始します！ ～

ANAグループは、2016年度の航空輸送事業計画を策定いたしました。

2015年度は成田・羽田から新たに海外4都市(*)へと就航し、国際線ネットワークの強化によるお客様の利便性向上と国際競争力の強化を図ってまいりました。成田では、日本を発着する需要に加え拡大する北米～アジア間渡航需要を見据え国際線の乗り継ぎ拠点として、羽田では、日本各地と海外とを結ぶ国際線と国内線の乗り継ぎ拠点として、様々な渡航ニーズにお応えする「首都圏デュアルハブモデル」を着実に強化しております。(*)ヒューストン・クアラルンプール・ブリュッセル・シドニー

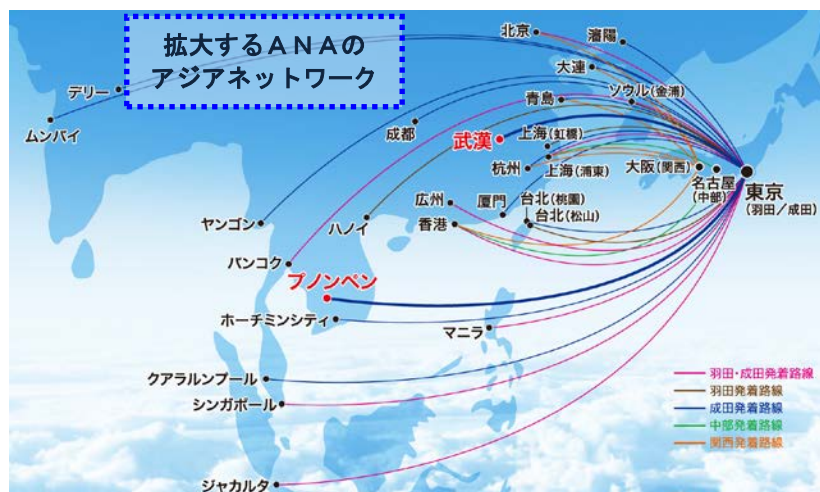
2016年サマーダイヤにおいても、成田における国際線ネットワークの拡充を進め、国際ハブ空港としてのさらなる機能強化を推進いたします。ANA NEWS第15-088号(2015年12月7日付)にて発表済みの成田＝武漢線の新規開設(今年4月より)に加え、経済成長著しいASEANへの新規路線として、成田＝プノンペン線を開設いたします。ANAとしてはASEAN8ヶ国目への就航となる当路線は、日本とカンボジアを結ぶ唯一の定期直行便として、今年9月より運航を開始します。

また、現在、全ての欧州路線(6路線)及び米国本土路線(9路線)で提供しているビジネスクラスのフルフラットシートについて、アジア路線への展開を拡大してまいります。新たにアジア2路線3便において、フルフラットシート及びプレミアムエコノミーサービスの提供を開始いたします。

国内線では、競争環境の変化を踏まえて一部の羽田発着路線の見直しを行い、羽田＝宮古線の新規開設するほか、岩国空港の発着枠拡大を受けて羽田線増便と沖縄線の新規開設をいたします。お客様の利便性向上に向け、引き続き国内線ネットワークを充実させてまいります。

ANAは今年、初の国際線定期便就航から30周年を迎えます。引き続き、皆様に便利にご利用頂けるANAネットワークの拡充に努めてまいります。ますます便利になるANAを是非ご利用下さい。国際線、国内線、貨物専用便の路線便数、運航機種等の詳細は以下の通りです。

これらの計画は関係当局の認可を前提としております。またスケジュールは予定であり、都合により変更となる場合もございます。あらかじめご了承ください。



1. 国際線

堅調な経済成長により、日系企業の進出が続きビジネス渡航需要が拡大していることに加え、訪日旅行需要も旺盛な中国内陸部の主要都市、武漢に就航いたします。日本と武漢とを毎日結ぶ直行便が新たに就航することにより、日本から武漢への渡航がたいへん便利になります。

また、近年の高水準な経済成長を受け、生産拠点としてのみならず市場としても注目を集め、日系企業の進出が続くカンボジアの首都、プノンペンへと就航いたします。今年は日本とカンボジアの友好条約が発効して60周年となりますが、両国を結ぶ初の定期直行便の運航開始により、今後のさらなる友好関係の発展と交流人口の拡大に貢献してまいります。

2016年度上期より、新たに中距離国際線仕様のボーイング787-9型機を受領し、アジア路線を中心に投入してまいります。当機材は、ビジネスクラスのフルフラットシートのほか、プレミアムエコノミーシートを装備しており、アジア路線を中心に投入していくことで、ビジネスクラスのフルフラット化及びプレミアムエコノミーサービス導入を推進いたします。

(1) 新規開設・増減便

路線	実施時期	現行	変更後	備考
成田＝武漢	2016年4月28日～	—	7往復/週	新規開設 ※1、2
成田＝プノンペン	2016年9月1日～	—	7往復/週	新規開設
成田＝成都	2016年3月27日～	4往復/週	7往復/週	※3
羽田＝香港	2016年3月27日～	10往復/週	9往復/週	※4

※1 「ANA NEWS第15-088号(2015年12月7日付)」にて就航発表済み。

※2 復路便は翌日からの運航となります。

※3 2015年ウィンターダイヤにおいて期間減便を実施しております。

※4 深夜時間帯運航のNH839/840を1往復減便し、2往復/週(月・土曜日)の運航といたします。

■ 新規開設 運航ダイヤ

2016年4月28日(木)より、以下のとおり成田＝武漢線を新規開設いたします。

路線	成田＝武漢
ダイヤ (現地時間)	NH937 成田を夕方～夜に出発し、武漢に夜到着するダイヤを予定しています NH938 武漢を朝～午前に出発し、成田に午後到着するダイヤを予定しています ※毎日運航、NH938は2016年4月29日から運航
使用機材	ボーイング767-300 (ビジネスクラス35席、エコノミークラス179席)
予約・販売開始	2016年2月上旬を予定しています

ダイヤ及び予約・販売開始日につきましては、確定後、改めてANA SKY WEB等にてお知らせいたします。

2016年9月1日(木)より、以下のとおり成田＝プノンペン線を新規開設いたします。

路線	成田＝プノンペン
ダイヤ (現地時間)	NH817 成田 10:50 ⇒ プノンペン 15:10 NH818 プノンペン 22:50 ⇒ 成田 06:45 (翌日) ※毎日運航
使用機材	ボーイング787-8 (ビジネスクラス42席、エコノミークラス198席)
予約・販売開始	今春を予定しています

予約・販売開始日につきましては、確定後、改めてANA SKY WEB等にてお知らせいたします。

(2) 機材変更

3月末より、成田＝ムンバイ線の機材を「ANA BusinessJet」から長距離国際線仕様のB787-8に変更いたします。また、4月末からは羽田＝バンクーバー線にもB787-9を投入することにより、ビジネスクラスでフルフラットシートを提供する欧米路線は、全欧州路線（6路線）及び全北米路線（10路線）に拡大いたします。

路線	実施時期	便名	現行	変更後	備考
成田＝ムンバイ	2016年3月27日～	NH829/830	B737-700ER	B787-8	※1
成田＝上海（浦東）	2016年3月27日～	NH959/960	B787-8	B767-300ER	※2
羽田＝上海（浦東）	2016年3月27日～	NH971/972	B767-300ER	B787-8	※3
	2016年8月22日～	NH967/968	B777-200ER	B787-8	※3
羽田＝バンクーバー	2016年4月28日～	NH116/115	B787-8	B787-9	※1
羽田＝ホノルル	2016年4月28日～	NH186/185	B767-300ER	B787-8	
羽田＝シンガポール	2016年4月28日～	NH841/844	B787-8	B787-9	※1
	2016年10月1日～	NH843/842	B787-8	B787-9	※1、※4
成田＝マニラ	2016年7月1日～	NH819/820	B777-200ER	B787-8	※3
羽田＝ハノイ	2016年8月1日～	NH857/858	B787-8	B787-9	
羽田＝香港	2016年9月1日～	NH859/860	B777-200ER	B787-9	※4

当日の機材・運航状況により変更となる場合がございます。

※1 機材変更に伴い、プレミアムエコノミーサービスの提供を開始いたします。

※2 8月1日～ NH959/960はB787-8に機材変更予定。

※3 復路便は翌日からの機材変更となります。

※4 B787-9（新仕様）に機材変更予定。

(3) アジア路線におけるプロダクトとサービスの拡充

欧米路線などの長距離国際線でご好評を頂いているビジネスクラスのフルフラットシート及びプレミアムエコノミーサービスについて、現在、アジア路線では成田＝シンガポール線、成田＝バンコク線（*）及び羽田＝ジャカルタ線の3路線4便にて展開しております。

（*）NH807/808

2016年サマーダイヤにおいては、新たに以下のアジア2路線3便においてビジネスクラスのフルフラットシートとプレミアムエコノミーサービスの提供を開始し、対象路線をアジア5路線7便に拡大いたします。

路線	実施時期	便名	機材	備考
成田＝ムンバイ	2016年3月27日～	NH829/830	B787-8	
羽田＝シンガポール	2016年4月28日～	NH841/844	B787-9	
	2016年10月1日～	NH843/842	B787-9	※1

当日の機材・運航状況により変更となる場合がございます。

※1 これ以降、ANAが運航する全ての日本＝シンガポール線において、ビジネスクラスのフルフラットシート及びプレミアムエコノミーサービスを提供いたします。

2016年ウィンターダイヤ以降も、ビジネスクラスのフルフラットシート及びプレミアムエコノミーサービスの提供路線を拡大してまいります。決定次第、改めてお知らせいたします。

2. 国内線

国内線ネットワークのさらなる拡充を図りつつ、競争環境及び需要動向の変化を踏まえ、路線便数と運航機材の最適化を推進いたします。

(1) 新規開設・増便

路線	実施時期	現行	変更後	備考
羽田＝宮古	2016年3月27日～	—	1往復/日	新規開設
羽田＝岩国	2016年3月27日～	4往復/日	5往復/日	
羽田＝沖縄	2016年3月27日～10月29日	11往復/日	12～13往復/日	※1
羽田＝米子	2016年3月27日～10月29日	6往復/日	6～7往復/日	※2
羽田＝石垣	2016年3月27日～10月29日	2往復/日	2往復/日	期間増便継続
伊丹＝札幌	2016年7月15日～8月31日	6往復/日	7往復/日	
関西＝札幌	2016年3月27日～10月29日	3往復/日	3～4往復/日	※3
関西＝宮古	2016年3月27日～	0～1往復/日	1往復/日	通年運航 ※4
中部＝松山	2016年3月27日～	3往復/日	4往復/日	
岩国＝沖縄	2016年3月27日～10月29日	—	1往復/日	新規開設 (期間運航)
札幌＝新潟	2016年3月27日～	1往復/日	2～3往復/日	※5
仙台＝札幌	2016年3月27日～	3往復/日	3～4往復/日	期間増便継続 ※6
福岡＝仙台	2016年3月27日～	3往復/日	3往復/日	期間増便継続
福岡＝沖縄	2016年3月27日～	9往復/日	9往復/日	期間増便継続
福岡＝札幌	2016年9月1日～10月29日	1往復/日	2往復/日	
沖縄＝石垣	2016年3月27日～	7往復/日	7往復/日	期間増便継続 ※7
沖縄＝宮古	2016年3月27日～	7往復/日	7往復/日	期間増便継続

※1 7月15日～8月31日は13往復/日とし、深夜便「ANAギャラクシーフライト」(6往復/週)を運航します。

※2 6月1日～9月30日は6往復/日。

※3 7月15日～9月30日は3往復/日。

※4 2015年度は、6月1日～9月30日運航。

※5 6月1日～9月30日は3往復/日。

※6 4月29日～5月5日、7月15日～10月29日は4往復/日。

※7 一部、運航便数が異なる期間がございます。詳細につきましては、ANA時刻表またはANA SKY WEBをご確認ください。

新規開設する羽田＝宮古線及び岩国＝沖縄線の運賃については、「ANA NEWS第15－100号(2016年1月20日付)」をご覧ください。

(2) 減便・休止

路線	実施時期	現行	変更後	備考
羽田＝富山	2016年3月27日～	6往復/日	4往復/日	
羽田＝小松	2016年3月27日～	6往復/日	4往復/日	
伊丹＝鹿児島	2016年7月15日～8月31日	6往復/日	5往復/日	
関西＝函館	2016年3月27日～	0～1往復/日	—	運休
中部＝宮崎	2016年3月27日～	3往復/日	2往復/日	※1

※1 アイベックスエアラインズとのコードシェアを開始いたします。詳細は本日発表のIBEX/ANA共同リリースにてお知らせいたします。

3. 貨物専用便

2015年度のバンコク－ジャカルタ線の運航開始に引き続き、成長著しいアジア域内の貨物需要を取り込むべく、新たな需要獲得に向けてシンガポール－香港線の運航を開始します。なお、シンガポール－成田線及び成田－香港線は減便いたします。

また、2015年度内にフレーター（貨物専用機）12機体制を構築した上で、貨物需要が堅調な中国・アジア路線の貨物ネットワークを拡充してまいります。

(1) 新規開設・増便

路線	実施時期	現行	変更後	備考
(沖縄－)シンガポール－香港(－沖縄)	2016年3月27日～	－	5片道/週	※1
関西－上海	3/30～4/10 7/24～10/29	3片道/週	6片道/週	
上海－成田	3/30～4/10 7/24～10/29	10片道/週	13片道/週	
成田－バンコク	3/31～4/8 7/22～10/29	3片道/週	5片道/週	
バンコク－ジャカルタ	4/1～4/9 7/23～10/29	3片道/週	5片道/週	
ジャカルタ－成田	4/1～4/9 7/23～10/29	3片道/週	5片道/週	

※1 沖縄－シンガポール、香港－沖縄の区間は、各6片道/週ずつ運航(沖縄－シンガポール－香港－沖縄の一連のルートを5往復/週運航)となります。

(2) 減便

路線	実施時期	現行	変更後	備考
シンガポール－成田	2016年3月27日～	6片道/週	1片道/週	※1
成田－香港	2016年3月27日～	7片道/週	2片道/週	※2

※1 減便する曜日は、火・水・木・金・土となります。

※2 減便する曜日は、火・水・木・金・土となります。

以上